

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が活動スペース(指導訓練室等)との関係で適切であるか	7			指導訓練室の他に学習室、座って活動する部屋があり、人数が多い日は戸外活動と分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			日々工夫して適切な人員配置を組んでいる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4		事業所が2階にある為エレベーターの設置など現実的に難しいものを除くと概ね適切である。
業務改善	4	業務改善を進めるための目標を設定し、振り返りに広く職員が参画しているか	5	1	1	会議や朝礼などで振り返りを行っている。 業務で改善すべき点は共有している。 業務改善における具体的な目標はこまめに伝達し合う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		保護者から頂いたご意見は、職員で話し合い業務改善につなげている。アンケートの内容から改善したものもある。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	1	公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	1	他事業所の方にもお越し頂きご意見をお聞きする機会を設けたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			積極的に研修を行う機会をいただいている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			面談やモニタリングをもとに児発管が作成後他職員がチェックを行い適切に作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、発達状況、心理的課題、養育環境、子どもの興味関心ごと、必要な情報を収集しているか	3	3	1	家庭での様子や、学校での様子を把握し、情報収集を行っている。
	11	活動内容をチームで話し合い、共有しているか	7			イベントの時など分担して準備を行っている。必ずチームで行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		様々な案を取り入れ工夫した支援を行っている。児童が行いたい活動を考慮すると少々偏りが生じる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		それぞれの利用時間に合わせて内容を設定している。その都度よく話し合っていて決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか	7			児童の特性を考慮し計画を作成している。情緒面や体調を考慮し適切に組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			毎朝欠かさず職員全員で確認している。 また朝礼時以外でも確認できるよう職員間で声掛けを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		日々の気付き、反省点はお休みの職員にも周知徹底している。 翌日に前日の振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		業務日誌の書き方を見直し研修も行った。マニュアルを参考に記録をとっている。 支援内容の改善等話し合っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			モニタリングはその都度利用者一人一人適切に行われている。担当職員を中心としてモニタリング会議を行い、定期的に支援計画の見直しを行っている。
	19	基本的生活習慣の習得、創作活動を通じての自己表現、地域交流による社会性の向上、活動選択し自己決定を促す等の支援を行っているか	5	2		偏りがないように様々に組み合わせている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2		必ず詳しく知っている担当者が出席するようにしている。主に児発管が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			確認ミス等ないように2重3重にチェックを心がけている。急な下校時刻の変更など連携が上手くいかないこともあるがその点以外は密に連絡できている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3	1	吸引など特別な医療行為が必要な利用者が現在受け入れがない。すぐに医師と連絡が取れるようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5		保護者から情報はいただいているが他事業所との連携をもっと図っていききたい。頂いた情報をもとに療育を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3		現在事例はないが必要に応じて対応する。いつでも情報を提供する準備は整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		助言を頂き研修にも積極的に参加している。療育の見学や担当のセラピストから情報提供を頂く等行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	3	行っていない。交流する機会を設けていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	2	ZOOMによるウェブ上での参加を行った。コロナが落ち着いたらは是非積極的に参加していこうと思う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時やメールでお伝えしている。保護者との連携は密に行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	4	行っていない。これから実施していけるよう準備を整えたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		悩み事など傾聴し助言も行うが適切であるか自信がないこともある。保護者から相談しやすい雰囲気作りに努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	5	コロナ禍でもあり今は難しいので落ち着いてから考える。行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			職員間で情報を共有し改善に努めている。苦情やトラブルが発生したときには迅速に児発管が赴き適切な対応を取っている。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2		会報は発行していないがインスタグラムやLINEオフィシャル等で発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			アルバイトの大学生に至るまで徹底している。個人情報が記載してある書類の破棄に関してはシュレッダーにかける等行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		現在特別に配慮が必要な利用者がいない。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	4	コロナ禍で暫くは難しい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3		その都度時代に応じ新しく作り直している。現在見直し再検討中。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		1	年に3回避難訓練を実施している。 (5月, 10月, 3月, 8月は防災体験に参加している) 報告書や連絡帳で周知している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		虐待防止の研修会の要項等周知を行った。また研修会も実施した。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1		利用者の安全確保のために行う場合があることを計画書に記載している。必ず記載するように保護者にも繰り返し確認している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	2	食物アレルギーの有無確認は利用開始時に行い周知を徹底し配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		報告書を作成し共有している。小さなことでも共有している。